

使徒言行録 11 章 12 節～18 節。すると、“霊”がわたしに、『ためらわないで一緒に行きなさい』と言われました。ここにいる六人の兄弟も一緒に来て、わたしたちはその人の家に入ったのです。彼は、自分の家に天使が立っているのを見たこと、また、その天使が、こう告げたことを話してくれました。『ヤツファに人を送って、ペトロと呼ばれるシモンを招きなさい。あなたと家族の者すべてを救う言葉をあなたに話してくれる。』わたしが話しだすと、聖霊が最初わたしたちの上に降ったように、彼らの上にも降ったのです。そのとき、わたしは、『ヨハネは水で洗礼を受けたが、あなたがたは聖霊によって洗礼を受ける』と言っておられた主の言葉を思い出しました。こうして、主イエス・キリストを信じるようになったわたしたちに与えてくださったのと同じ賜物を、神が彼らにもお与えになったのなら、わたしのような者が、神がそうなざるのをどうして妨げることができたでしょうか。」この言葉を聞いて人々は静まり、「それでは、神は異邦人をも悔い改めさせ、命を与えてくださったのだ」と言って、神を賛美した。

ペトロはローマの百人隊長コルネリウス邸で、主イエスの福音を語った。すると、聖霊が降り、福音を受け入れたので洗礼を受けた。ところが、エルサレム教会に帰ると「あなたは割礼を受けていない者たちのところへ行き、一緒に食事をした」と非難された。

ペトロは弁明をした。幻を見「神が清めた物を、清くないなどと、あなたは言うてはならない」という声を聞いた。そこへ、コルネリウスから迎えの使者が来た。霊は「ためらわないで、一緒に行きなさい」と言われたので、6人の兄弟たちと行った。コルネリウスは天使から、私を招き、救いの言葉を聞くようにと告げられたと言った。そこで、私が話していると、聖霊が降った。「ヨハネは水で洗礼を受けたが、あなたがたは聖霊によって洗礼を受ける」と言われた主イエスの言葉を思い出した。最後に「主イエス・キリストを信じるようになったわたしたちに与えてくださったのと同じ賜物を、神が彼らにもお与えになったのなら、わたしのような者が、神がそうなざるのをどうして妨げることができたでしょうか」という言葉で説得した。

ペトロの弁明を聞いて人々は静まり、「それでは、神は異邦人をも悔い改めさせ、命を与えてくださったのだ」と、異邦人も主イエスの福音を信じ、同じ聖霊が与えられた事実を喜び、神を賛美した。エルサレム教会はまだ「キリスト教」ではなく、ユダヤ教の信仰と戒律を色濃く残している「イエス派」であった。しかし、コルネリウスたちの回心は異邦人を内に取り込む開かれた宗教への第一歩を踏み出した記念すべき出来事であった。

この後、アンテオキア教会で下記のようなことが起こったと、パウロはガラテヤ書 2 章で書いている。ペトロが異邦のシリアのアンテオキア教会に来て、異邦人たちと共に食事をしていました。そこへ、エルサレム教会の主イエスの弟ヤコブの下から信者たちが来た。割礼を受けたユダヤ人信者から非難されることを恐れたペトロは食事の席から離れ、異邦人とは共にしない素振りを見せた。これを見たパウロは激怒して「あなたはユダヤ人でありながら、ユダヤ人らしい生き方をしないで、異邦人のように生活しているのに、どうして異邦人にユダヤ人のように生活することを強要するのですか」と言った。民族間にある隔てを乗り越えたと考えていたけれども、このような躓きもあったと伝えている。福音がもたらす自由を生活の中で実践することは容易ではなかったのである。